



きょうげん
狂言

すえひろがり
「末広かり（末広）」

～おはなし～

たろうかじや しゅじん い みやこ すえひろ か い
太郎冠者は主人の言いつけて都へ「末広がり」を買いに行きます。
じつ たろうかじや すえひろ なに し さぎし
実は太郎冠者は「末広がり」が何なのか知らなかったので、詐欺師に
だまされて古い傘を買ってしまいました。

すえひろ おうぎ ちが か たろうかじや しゅじん おこ
「末広がり」とは扇のことで、違うものを買って来た太郎冠者に主人は怒つ
たろうかじや うたい まい きげん なお いっしょ たの ま
てしまふのですが太郎冠者の謡と舞で機嫌を直し一緒に楽しく舞うのでした。